

実施計画事業名		経済活動促進事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		建設産業部 サハリン課		課長(主幹)名	佐藤秀志		
総合計画体系	分野	5	産業振興				
	政策	4	地域資源の再発見・世界への発信				
	施策	3	サハリンとの経済交流を促進します				
	関連施策						
現状と課題	サハリンの状況、目まぐるしく変わる複雑なロシアの法制度、サハリンの企業、経済動向が不透明なため、安定的且つ多角的な経済交流を行なうことが難しい。						
目的	北海道サハリンの経済交流を活発化し、稚内の経済を活性化する						
5ヶ年開の施策展開	①サハリン州を含めた友好都市経済交流促進会議の開催、 ②外国人研修生受入事業を支援し、若いサハリンの経済人を育成し稚内との交流のための人材育成に寄与、 ③日ロ経済交流協会を支援しサハリンとの取引する稚内企業の支援、 ④サハリンプロジェクト情報の収集と稚内港のPR、 ⑤経済交流の拠点整備の一環として日ロ友好会館の管理運営、その他サハリンとの経済交流推進のために必要とされること						
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度
	ロシア貿易による経済波及効果		億円	目標	150	150	150
説明	水産商工課において推計			実績	130	120	
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度
	経済交流促進会議、PR活動等、年間取組件数		件	目標	5	5	5
	説明	1年間に取り組んだ事業の数		実績	13	14	
				目標	-	-	-
	説明			実績			
				目標	-	-	-
	説明			実績			
				目標	-	-	-
説明			実績				
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	10,635	12,088	5,988	H23年度は、補正で予算計上の予定あり	
	国庫支出金	千円	0	0	0		
	道支出金	千円	0	0	0		
	起債	千円	0	0	0		
	その他	千円	206	198	0		
	一般財源	千円	10,429	11,890	5,988		
	この事業にかかる職員数	人/年	1.88	1.50	1.50		
人件費(B)	千円	13,021	10,187	10,187			
計(A+B)	千円	23,656	22,274	16,175			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 これまでのサハリンとの経済活動は、活ガニと中古車の輸出入とサハリンプロジェクト関連資機材の輸出を主にしたものだったが、ここ数年は、サハリンプロジェクトバブルで生まれた富裕層～中間層をターゲットにした経済交流への移行期にあり、民間企業も試行錯誤を重ねている状態である。						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測) <b>c</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)
	<cの場合は、なぜかを分析して記入する> サハリンプロジェクトが一段落した現状では、重機車両やトラック、資機材などの輸出が激減しており、近年では、住宅外壁材が多少輸出されるもののドル安で円高の為替レートにも影響があり、サハリンとの取引が思うように進展していない。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか <b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> これまでもスムーズな通関を目指すため、日本側とサハリン側の関係者による協議を行ってきたが、状況は変わらないことから、今後は新たな手法も取り入れながらサハリン側に理解を求めていくことが必要である。
	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか <b>b</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 長引く景気の低迷もあり、本市の地元企業の中で、多少のリスクを負ってでもサハリンビジネスにチャレンジしようとする企業が少ない状況である。サハリンの活気ある経済状況を把握するため、再度、経済界によるサハリン視察を実施する必要がある。
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか <b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>B</b> 見直しの検討が必要 <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 本年度は、サハリンプロジェクト関連物資を主とした稚内港を拠点とする物流システムの構築に必要な助言・提案を受けるため、稚内港物流システム・アドバイザー業務を委託して調査研究を行った。平成23年度も引き続き委託を行い、稚内港の拠点性を高め、経済交流の活発化を図っていく。 また、サハリン州やコルサコフの税関関係者や輸入代理店などを一堂に会した協議の場を設定し、コルサコフ港の通関手続きが円滑に行われるよう働きかけていく。

【2次評価】

成 果	<b>c</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>b</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>B</b> 見直しの検討が必要 <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--